



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044 (850) 1320
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,246	11.1	179	7.0	181	21.1	147	35.8
30年3月期第2四半期	1,122	5.4	167	42.5	149	35.6	108	18.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 147百万円 (35.8%) 30年3月期第2四半期 108百万円 (18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	61.21	58.62
30年3月期第2四半期	46.21	43.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,009	1,679	27.9
30年3月期	5,932	1,527	25.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,679百万円 30年3月期 1,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,560	13.3	350	25.0	350	32.8	285	37.0	118.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	2,417,500株	30年3月期	2,409,500株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	0株	30年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	2,412,884株	30年3月期2Q	2,353,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに回復しております。高水準の企業収益を背景とした、製造業の能力増強や人手不足対応の省力化を目的とした国内の設備投資が増加しており、鉱工業生産は底堅く推移しております。一方個人消費は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、物価上昇による実質所得の伸び悩みを受け、緩やかな持ち直しにとどまっております。

このような環境のなか、当社グループは、飼い主のかかりつけ動物病院（一次診療施設）と連携して高度医療への取り組みを続けるとともに、当社グループ内の診療実績を発表するための学会報告や、獣医師向けセミナー開催を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。首都圏東部・北部のエリアをカバーする第3の診療施設として平成30年1月に東京都足立区に開院した東京病院も順調に推移しており、全体として初診数（新規に受け入れた症例数）は2,939件（前年同期比23.3%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は11,730件（前年同期比13.8%増）、手術数は843件（前年同期比6.6%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,246,112千円（前年同期比11.1%増）、営業利益は179,406千円（前年同期比7.0%増）、経常利益は181,288千円（前年同期比21.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は147,713千円（前年同期比35.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,333,707千円となり、前連結会計年度末に比べ179,645千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が230,404千円増加したことによるものであります。固定資産は4,675,591千円となり、前連結会計年度末に比べ102,913千円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は6,009,299千円となり、前連結会計年度末に比べ76,731千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は796,997千円となり、前連結会計年度末に比べ61,024千円増加いたしました。これは主に未払消費税等が38,066千円増加したことによるものであります。また、固定負債は3,532,706千円となり、前連結会計年度末に比べ136,006千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、4,329,704千円となり、前連結会計年度末に比べ74,981千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,679,594千円となり、前連結会計年度末に比べ151,713千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益147,713千円によるものであります。

②キャッシュフローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、372,851千円（前年同期比63.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益181,288千円、減価償却費115,300千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、31,145千円（前年同期比86.8%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出25,494千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、111,300千円（前年同期は53,739千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入150,000千円、長期借入金の返済による支出263,721千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成30年5月10日付「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,346	1,120,751
売掛金	118,423	126,512
商品	41,972	40,768
貯蔵品	4,675	4,480
その他	105,791	49,828
貸倒引当金	△7,146	△8,633
流動資産合計	1,154,062	1,333,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,727,476	1,686,732
土地	2,228,267	2,228,267
その他(純額)	597,643	545,930
有形固定資産合計	4,553,388	4,460,931
無形固定資産	24,415	24,091
投資その他の資産	200,701	190,569
固定資産合計	4,778,505	4,675,591
資産合計	5,932,567	6,009,299
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,219	39,432
1年内返済予定の長期借入金	494,509	519,045
未払法人税等	38,534	42,760
賞与引当金	42,865	46,602
その他	113,845	149,157
流動負債合計	735,973	796,997
固定負債		
長期借入金	3,616,466	3,478,208
退職給付に係る負債	12,200	14,250
資産除去債務	40,046	40,247
固定負債合計	3,668,712	3,532,706
負債合計	4,404,686	4,329,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,825	380,825
資本剰余金	334,143	336,143
利益剰余金	814,912	962,625
株主資本合計	1,527,881	1,679,594
純資産合計	1,527,881	1,679,594
負債純資産合計	5,932,567	6,009,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,122,013	1,246,112
売上原価	691,595	809,090
売上総利益	430,418	437,022
販売費及び一般管理費	262,815	257,615
営業利益	167,602	179,406
営業外収益		
受取家賃	11,446	11,891
その他	1,060	1,407
営業外収益合計	12,507	13,298
営業外費用		
支払利息	13,036	8,708
資金調達費用	17,127	2,090
その他	265	617
営業外費用合計	30,428	11,415
経常利益	149,681	181,288
特別損失		
退職給付費用	9,600	-
特別損失合計	9,600	-
税金等調整前四半期純利益	140,081	181,288
法人税等	31,326	33,575
四半期純利益	108,754	147,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,754	147,713

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	108,754	147,713
四半期包括利益	108,754	147,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,754	147,713

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	140,081	181,288
減価償却費	80,034	115,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	182	1,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,770	3,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,700	2,050
受取利息	△3	△2
支払利息	13,036	8,708
資金調達費用	17,127	1,890
売上債権の増減額(△は増加)	1,297	△8,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,354	1,399
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,636	△7,486
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,933	58,893
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,752	38,066
その他	20,648	15,987
小計	254,233	413,228
利息の受取額	3	2
利息の支払額	△12,421	△8,704
法人税等の支払額	△13,881	△31,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,933	372,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△231,880	△25,494
無形固定資産の取得による支出	△1,300	△2,194
保険積立金の積立による支出	△3,419	△3,422
その他	—	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,599	△31,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△650,000	—
長期借入れによる収入	2,911,770	150,000
長期借入金の返済による支出	△2,217,168	△263,721
株式の発行による収入	9,137	4,000
その他	—	△1,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,739	△111,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,072	230,404
現金及び現金同等物の期首残高	758,317	790,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	803,390	1,020,751

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。